

共同研究プログラム「東アジアのストリートの現在」第8回研究会

アニメ聖地となる<ストリート>

日時:2010年1月24日(日)13:00 - 18:00

場所:TKP大阪梅田ビジネスセンター・カンファレンスB1A室



発表者:

『萌えアニメによる新しい町おこし』(仮)

松本 真治(鷺宮町商工会 経営指導員)

『情報化時代の旅行コミュニケーション～埼玉県鷺宮町の土師祭
「らき☆すた」神輿の事例から～』(仮)

岡本 健(北海道大学国際広報メディア・観光学院観光創造専攻 博士課程)

『「趣味」を包摂する場としての「アニメ聖地」』(仮)

谷村 要(関西学院大学大学院社会学研究科 大学院GP リサーチアシスタント)

コメンテーター:

森川 嘉一郎(明治大学国際日本学部 准教授)

「(アニメ)聖地巡礼」とは、アニメファンによるアニメ作品のモデル地域への訪問や旅行を意味する言葉として近年用いられており、この動きを地域振興に活用しようとする市町村が登場しています。埼玉県北葛飾郡鷺宮町はその地域振興が特に「成功」とされる地域ですが、そこでは、どのような担い手たちが、いかなるプロセスを経てこの現象に関わっているのでしょうか。本研究会ではこの鷺宮町にかかわる実践者・研究者をお呼びし、さまざまな位相からこの問いを考察することを目的とします。